

西原市報にしたら

発行所
西原町役場
西原町字嘉手刈112番地
電話 (09894) 5-4533
印刷
印刷センター 大永
電話 (0988) 67-5111~3

町の世帯・人口
(昭和54年 5 月末日現在)
世帯数 3,736世帯
人口 15,570人
男 7,921人
女 7,649人
5 月の人口移動
出生 24人 死亡 4人
転入 102人 転出 88人
婚姻 12件 離婚 1件

創立二十周年記念事業

西原中学校

視聴覚教材と楽器など贈る

創立二十周年を迎えた西原中学校(松田洲弘校長)の記念式典が六月三十日午後二時から同校体育館で全校生徒とPTAをはじめ多数の来賓が参加して行なわれた。記念事業として同校創立二十周年記念事業期成会(親泊輝武会長)が中心となって、各区民の皆

様の町内の会社関係者からの募金も行なわれ、八三三万四、九三〇円の寄付金が集まり、四八三万円の相当の視聴覚教材と二九万九千円相当のプラスチックの楽器などが同校に贈られ喜ばれている。また、沖縄電報社(代表取締役 高江洲義定)から六万三千相当



創立20周年を迎えた西原中学校の記念式典、同校体育館で。

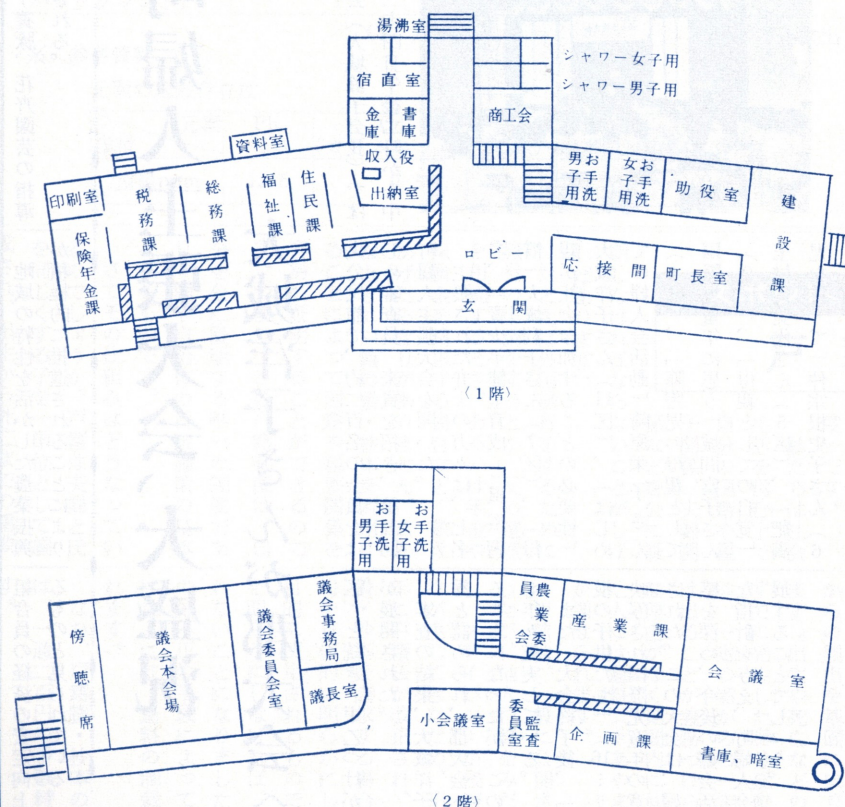
二五〇キロ爆弾で大騒動

字池田で見つかった不発弾処理が六月二十一日午前11時から正午までの間行われた。同不発弾は米国製二百五十キロ空爆弾で爆発すれば半径七百メートルの範囲に被害がおよぶと云われ、池田の住民が避難した。

発見された場所は、沖縄カントリークラブから県道一五五号線に抜ける三差路から県道を首里方向に約百メートル行った左側。発見場所が県道一五五号線に近いこともあり、同場所に通じる道路の全面交通規制も行なわれた。



町役場庁舎配置図



6日から町役場の各課の配置が上記の通り変りました。町役場にお寄りの際、ご参考にして下さい。

海外移住者の戸籍について

ブラジル、アルゼンチン、ペルー、その他の外国に在住する西原町(旧西原村)に本籍を有する方々の戸籍は昭和二十年四月一日戦災による焼失又は移住後の戸籍記載事項の不備等があり、整備されておられません。

殆んど仮戸籍は未申告の状態であり、移住者の方々の場合は、個人の記憶による申告と違い大変有利であります。そこで、海外在住者で沖繩を訪問される方は一応戸籍が再製されているか事前に西原町役場に確認して下さい。もし未整備の場合は日本公館より戸籍謄抄本の写、身分関係書類進達目録の写、滅失前に関係書類進達目録の写、滅失前に受理された戸籍係の写の4点を送付して下さい。

昭和二十九年三月、琉球政府法務局長の通達により戸籍整備法が施行され各市町村においては個人の記憶による仮戸籍申告の業務が開始され、申告された仮戸籍の内容を再製資料をとりそろえて、直接送付又は親族、知人を通じて、町役場戸籍係において早めに戸籍を整備して下さい。海外在住者に関しましては、帰郷されて戸籍がないとなると

パスポートの交付もできなくなり大変煩雑な手続を要することになります。『西原町役場住民課』

海外移住者の戸籍再製のための必要書類

- ① 戸籍謄抄本の写
- ② 戸籍事項記録カードの写
- ③ 身分関係書類進達目録
- ④ 滅失前に受理された戸籍係書の写

①②③④とも移住国の日本公館に保管されており、その趣旨を説明すれば発行してくれる。

海外移住者の戸籍再製の手続は早めに 町役場住民課

昭和54年度 農協通常総会

生産向上と営農指導を推進

――さとうきびの古株更新を拡大――



農協通常総会、中央公民館で。

村農業協同組合（城間光雄組合長）では、六月二十六日午後一時から中央公民館で組合員約六百くを集め昭和五十四年度通常総会を開いた。

今回提出された議員は、昭和五十三年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書および剰余処分案の承認や昭和五十四年度事業計画の設定など十一件で総て原案通り可決された。また定款の一部変更により村が改められ、西原町農業協同組合が発足した。

昭和五十四年事業計画によると信用事業で貯金目標四二億八、五〇〇万円に対し貸付目標一五億一、八〇〇万円に対し貸付目標一五億一、八〇〇万円とし金利の軽減に努めるとともに貸出体制と保全対策が強化される。

また、共済事業は、組合員の生活保障の充実をはかるよう普及推進され、購買事業も、肥料、飼料園芸用品等の供給体制の強化を図り生活資料については予約販売が行なわれる。

販売事業では、今年度目標をさとうきび三万三千トン（昨年度、三万二、三六八トン）、肉豚二千頭（昨年度、八八八頭）、花卉四千二百箱（昨年度、一、一八九箱）とし、生産と農業所得の向上が図られる。

利用事業では、町役場産業課とタイアップしてさとうきびの古株更新の目標を二六万四千平方メートル（八万坪）とし、トラクター作業の円滑な運営が期される。

【議会だより】

町一般会計補正予算 一五億八、〇四五万二千元

第三回定例議会

六月二十五日から二十八日にかけて四日間の会期で昭和五十四年度第三回町議会定例会が開かれた。

この議会に提出された案件は、議案七件、同意一件、承認三件、報告一件であり、議案はすべて原案通り可決された。

その内容は次の通り。

※議案第四五号

昭和五十四年度西原町一般会計補正予算について（原案可決）

才入才出にそれぞれ七、五六一万円を追加し、予算額を二五億八、〇四五万二千元とした。

※議案第四六号

昭和五十四年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について（原案可決）

西原町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について（原案可決）

て（原案可決）

才入才出に九四一、六千円を追加し、予算総額を三億四、六八九万六千円とした。

※議案第四八号

西原町国民健康保険条例の一部を改正する条例について（原案可決）

※議案第四九号

中頭地方視覚協賛会規約の一部を変更する規約について（原案可決）

※議案第五〇号

西原町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について（原案可決）

※承認第二号



町税納期のお知らせ

固定資産税と国民健康保険税の第二期納期は七月末日までとなっておりますので未納の方は早めに納付下さるようお願い致します。

納期限を過ぎますと延滞金がかかります。

総会終了後、町内の西原浄水場

専決処分の承認を求めることについて（承認）

※承認第三号

専決処分の承認を求めることについて（承認）

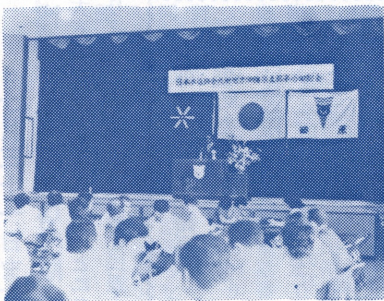
※承認第一号

決専決処分の報告について

県水道総会開かれる

六月二十九日午後二時から町立中央公民館で、日本水道協会九州地方沖縄県支部第十六回総会が県内市町村の水道関係者約二百名を集めて行なわれた。

総会の席上、沖縄振興開発特別措置法の延長について、道路改良工事等に伴う配水管等の布設替え費用の負担についての要請決議がなされた。



商工会新職員紹介

町商工会では、七月一日から崎原盛武さん（26才）を指導員として配置致しました。

会員の皆様にご紹介致します。

町婦人主張大会、大盛況

大城洋子さんが郡大会へ

町婦人会（大城静子会長）では、六月二十四日午後二時から中央公民館で、約二百名の会員をはじめ審査員、来賓を招き、第五回町婦人主張大会を開いた。

主張された弁士の方々は、七名、名、「青少年健全育成と風俗習慣」大城利子さん（7区）、「母親が社会参加することの必要性」大城洋子さん（11区）、「はじめの婦人会活動」崎原栄子さん（4区）、「障害児の母親として国際児童に思う」城間富子さん（2区）、「母親としての自覚」玉村貴美代さん（5区）、「肥満児を持って」仲宗根史子さん（6区）と続き、甲乙つけがたい熱弁が展開された。

審査の結果、大城洋子さんが優秀と認められ、郡大会へ派遣されることになったが、この主張大会も年々充実している。

また、大会終了後、「世界の屋根の子供たち」（16ミリ映画）も映写され国際児童の意義が啓発された。この大会は、婦人の連帯感を深め、今後の婦会活動に大きな指針を与え、町婦人会も益々発展することでしょう。

さらに、養豚、花卉園芸の指導が積極的に推進されることにより組合員の経済の安定向上が図られるものと見られている。

第一表 町内河川の水質調査結果

分析項目 河川名	PH		DO (ppm)		BOD (ppm)		SS (ppm)		大腸菌数 (万個/100mℓ)	
	53年	52年	53年	52年	53年	52年	53年	52年	53年	52年
我謝川河口部	8.0	8.0	5.6	2.3	16.4	15.4	3.9	7.2	46	1,500
兼久川下流	7.9	7.4	6.1	0.9	17.0	49.0	33.0	17.8	2,400	920,000
小波津川下流	9.5	7.3	13.2	2.4	8.7	30.3	4.0	27.0	1,100	0.22
小那覇川河口部	8.1	8.2	2.1	11.9	19.0	9.8	6.4	6.0	2,100	11
浜田川中流	7.8	7.6	3.1	2.2	7.2	4.9	3.9	1.1	24	0.46
稲国川中流	8.1	7.7	3.6	6.1	1.6	3.3	4.2	1.7	0.093	3.3
名護川中流	7.7	7.8	0.3	5.3	17.9	19.6	9.0	16.0	240	0.34
徳佐田川中流	7.0	8.2	2.4	10.0	75.3	132.6	15.0	39.6	1,100	1,600,000
森川川中流	河川工事のため測定せず	7.9		7.8		6.1		5.3		5
C類型の環境基準	6.5以上～8.5以下		5PPm以上		5PPm以下		50PPm以下		—	

※ 説明 PH : 水素イオン濃度
DO : 溶存酸素
BOD : 生物化学的酸素要求量
SS : 浮遊物質量
浜田川 : 南西石油付近を流れる川
稲田川 : 掛久保、小那覇付近を流れる川
名護川 : 幸地を流れる山

町は、昭和52年度に引き続き、昭和53年度も町内の生活環境の汚染状況を把握するため町内及び町近海の河川、大気、底質の分析調査を実施したがこのほど、その調査結果がまとまりました。

河川の水質分析結果については、BODなど一部の高い測定値は、BODなど一部の高い測定値の箇所を除いては、ほぼ全般的にC類型の環境基準をみたしている。

これについて、環境基準（二酸化イオウ・四PPm）一時間値の日平均値と照らし合わせてみるとその十分の一の値である。今後も継続的に調査が行なわれ、環境汚染の監視が強化される。

底質分析結果については、現在、その環境基準等が定められてなく、有効な汚染指標となるものがない。しかも、海域土壌については、調査が不十分な状況で確定的な資料がないといわれている。

大気・水質・底質の環境調査結果まとまる

第三表 町内及び町近海域の底質調査結果

分析項目 採種場所	Pb (ppm)		Cd (ppm)		As (ppm)		Hg (ppm)		Cr (ppm)	
	53年	50年	53年	50年	53年	50年	53年	50年	53年	50年
小波津川河口附近	11.6	ND	0.2	ND	4.7	8.3	0.03	0.02	ND	ND
兼久川河口附近	7.6	ND	0.2	ND	7.1	7.4	0.02	ND	ND	ND
沖縄軽金属下流	16.0	ND	0.5	0.10	3.8	2.6	0.16	0.07	ND	ND
南西石油(株)最終排水口附近	14.1	ND	0.1	ND	9.3	9.7	0.03	0.03	ND	ND
小波津団地裏(バックグランド)	14.8	—	0.1	—	6.5	—	0.04	—	ND	—
南西石油(株)シーバースの真中附近(バックグランド)	—	ND	—	ND	—	5.8	—	ND	—	ND

※ 参考資料

元素の地殻存在度

元素	Pb (鉛)	Cd (カドミウム)	As (ヒ素)	Hg (水銀)	Cr (クロム)
単位					
重量ppm	12.5	0.2	1.8	0.08	100

Cr : 六価クロム

ND : 不検出

第二表

町内各地点での大気中硫酸化物濃度の測定結果

測定場所	53年 (ppm)	52年 (ppm)	51年 (ppm)
西原送信所	0.004	0.004	0.004
我謝公民館	0.002	0.004	0.002
小波津公民館	0.003	0.003	0.002
沖縄三育小学校	0.008	0.004	0.004
4地点の平均値	0.004	0.003	0.003

現在、一般的汚染指標として利用されているのに経年変化やバックグランド値などがある。

昭和50年度のデータと比較すると、ほとんどの地点で有害物質が検出されている。これについては注視し、今後も、同一ポイントにおける経年調査を実施し、その変化をみていきたい。

スポット — 制度の紹介 —

戸籍制度

「自分は、いったいどの誰なのか」といっても推理小説のお話ではありません。この「どの誰」を証明するのがいわゆる「戸籍制度」です。

私たちは社会生活を営む上で自分の国籍や親子関係、夫婦関係などを公に証明しなければならぬことがしばしばあります。

たとえば外国旅行をするために旅券の申請をするとか、父の遺産を相続するとき、あるいは年金や保険金を請求する場合など、数えあげたらきりがありません。こんなときに戸籍の謄・抄本を利用することによって国籍や親族関係を容易に証明することができるのです。つまり、この戸籍制度は、自分を公に証明する唯一の制度であり、国や自治体の行政施策の基本となるものです。

さてその仕組みはどうなっているのでしょうか。戸籍は夫婦と氏を同じくする子を単位として編成され、出生から死亡までの重要

◆ ヤミタバコを追放しよう ◆

五〇億円 この金額は、日本専売公社が「たばこ消費税」として、五十三年度予算に県や市町村に納付したものであります。

このたばこ消費税は各地方自治体の大きな財源の一つとして、自治体活動に大きく寄与しています。

「ヤミたばこ」の消費は、県や市町村の貴重な財源である「たばこ消費税」をむしばむ

「自分は、いったいどの誰なのか」といっても推理小説のお話ではありません。この「どの誰」を証明するのがいわゆる「戸籍制度」です。

「自分は、いったいどの誰なのか」といっても推理小説のお話ではありません。この「どの誰」を証明するのがいわゆる「戸籍制度」です。

「自分は、いったいどの誰なのか」といっても推理小説のお話ではありません。この「どの誰」を証明するのがいわゆる「戸籍制度」です。

ヤミタバコを追放しましょう。

夏休み…このチャンスを生かそう

いよいよ、夏休みです。身心ともに伸び盛りの子供たちにとって、ふだんの生活では味わえない体験をするには、夏休みはもってこのチャンスです。一方、季節がら、水の事故が多く発生する時期でもあり、お母さん方にとっては、心配のタネでもあります。

「なわ跳び」で体力づくり

夏休みの体力づくりに「なわ跳び」はいかがですか。用具とスペースさえあれば、だれでもできる手軽な運動です。なわ跳びは、足腰を丈夫にするなどランニングと同じような効果を持つ全身運動です。とくに、跳躍力、リズム感覚、敏しょう性を養うのに適しています。

《用具》

使う人の身長によって違います。両足で、ひもの中心を踏んで、両端の握り部分かワキの下に届くくらいが、長さとしてはよいでしょう。

《跳び方》

基本的な跳び方として、次のようなものがあります。

- ▽両足跳び 両足同時に跳ぶ
- ▽駆け足跳び 交互に足を踏みかえて跳ぶ
- ▽開脚跳び 両足を前後または左右に開いて跳ぶ
- ▽あや跳び 手を前で交差させて跳ぶ



最初のうちは、連続跳びで三十分、五十回くらいを目標にし、しだいにコンディショニングを考えながら回数をやや上げていきます。また五分間で何回跳べるかといったスピードをつける方法もあります。夏休み期間中の目標と練習スケジュールを立てて、がんばってください。

職業訓練生（能開訓練課程）募集

1. 訓練職種、定員、期間及び内容

訓練職種	定員	期間	訓練内容
溶接科	25名	1ケ年	電気溶接、ガス溶接、溶断及び特殊溶接等の溶接技術、技能が習得できる。
電気工事科	25名	1ケ年	電気工事士及び高圧電気工事士に必要な学科及び実技を学ぶ。
建築科	25名	1ケ年	建築大工を主体として、鉄筋コンクリート造、ブロック造の技術、技能及び関連知識、ガス溶接技能講習
計	75名		

2. 入校資格

雇用保険受給者及び一般求職者で義務教育修了者又は、これと同等以上の学力を有し、身体健康、就職の意志堅固な者、但し、色神聴力異常、伝染性疾患のあるものは不可。

3. 申し込み方法

入校願書（別紙をきりとり使用）に、公立病院等の健康診断書及び写真（サイズ4×3cm 3葉）を添えて公共職業安定所へお申し込み下さい。

4. 受付期間

昭和54年8月10日～昭和54年9月8日まで

5. 入校選考

選考日 昭和54年9月12日（水）
集合 午前9時30分
選考開始日 午前10時
選考場所 沖縄南総合高等職業訓練校
〒901-05 沖縄県島尻郡具志頭村字港川141
電話 098998-3300～1
選考方法 面接

6. 合格発表

昭和54年9月13日（木）午後

その他、詳しいことは公共職業安定所に問い合わせ下さい。

母と子の会話

さあ、楽しい夏休み。子供たちは、規律正しい学校生活から離れて、家庭中心の毎を送ることになります。ふだんの生活では味わえない、夏休みならではの貴重な体験をすることができ、過

夏休みの生活

自分の力にかなう「目標」を立てよう

もだらけ、二学期によい影響を与えない場合が多いようです。家族の一員として、規則正しい生活を送るには、親の協力が必要だからです。さて、その生活プランに、

ごし方次第では有意義な長期休暇となるでしょう。半面、その日その日をただなんとなく過ごすというよくな無計画な姿勢では、あり余る時間をもて余し、精神的に

そのためにも、夏休み中の生活プランを立てることが大切です。生活設計は、一方的に親が決めるのではなく、といて子供一人に考えさせるのでもなく、子供の自主性を

尊重しながら話し合いで作り上げるのがよいでしょう。子供が自主的な態度で規則正しい生活を送るには、親の協力が必要だからです。さて、その生活プランに、

ゴミの再利用で「二石三鳥」

ゴミといえば、汚いもの、臭いもの、などというイメージがすぐ浮かびますが、全部が全部そうではありません。ゴミの中身を分析してみますと――。

一般家庭から出るゴミの約半分は台所などの生ゴミですが、残りの半分は、資源として再利用できる新聞紙や古雑誌などの紙類、空きかん類、びん類などです。

これらの資源は、元はといえば、そのほとんどが輸入に頼っているのが実情です。紙の原料となるパルプ材は全体の六割、鉄やアルミニウムにいたっては、九九

%を外国から買っているのです。このような輸入資源を一回使ったきりで捨ててしまうのはもったいない話で、まさに資源のムダ遣いです。

ゴミの再利用は資源の有効活用になるほか、ゴミの量が減って清掃・処理費用が少なくて済み、同時に環境の美化につながるという一石三鳥の効果をあげることが出来ます。ゴミは選別して、それぞれの回収ルートにのせるようにしましょう。



統計グラフコンクールについて
県では、統計思想の普及向上と統計の表現技術を研鑽する目的で県統計グラフコンクールを行ないます。締切日は九月八日まで。応募に関するお問い合わせは県統計協会（那覇市泉崎1-2-32 電話六六二〇五〇）まで。

ゴミは選別して「ゴミの再利用」に努めましょう。

西原町における 尚円王とその伝説

(二)

西原町字与那城11四八の二 仲田 朝宗

カヤブチ御殿と ウスクガジマル

或る日、一人で自炊をしていると、周囲は夕闇が深く垂れこめて、かまどから焚く炊煙が、樹々の間を縫って遠く空にのぼっていった。

それを見た嘉手苅村の娘が、不思議に思い、あちこちと煙の出所を探して、カヤブチ屋まで来て、中をのぞいてみると、眉目秀麗な一人の青年が、不自由な手つきで炊事をしていたので、かわいそうに思い次の日から夜な夜な夕餉の食事を運ぶようになった。そうこうするうちに二人は、わりない仲になってしまった。

——そのころ住んでいた家が、現在カヤブチ御殿といつて、町民はもろろ遠くから拝礼のため、訪れる人びとが後をたないほどである。

——また、そのとき鞭の代用として用いていたウスクガジマルの枝は、そのまま根ざり、大木となり戦前まで、内間部落のカヤブチ御殿の左側の畑の中におおい茂っていたそうだが、現在では切り取られてなくなっている。

縁結び毛 (えんむすびもう)

小那覇三又路から、国道三三九号線を三百米ぐらい北上すると、左手の方に内間部落がある。その部落の北東のはずれ、すなわち国道三三九号線に沿って、小ちんまりとした拝所がある。

この拝所を内間部落の人びとは「縁結び毛」といっている。

その昔、金丸がカヤブチ御殿に居住して、日夜農耕にいそしんでいたある日、つれづれなるままに散策などをこころみたと、此処で西原祝女と出会い、縁を結んだところといわれている。

その時、西原祝女は
心いさみゆる糸縁のタバコ
ちゆ吹ちゆ吹みそり
御縁結ば
という歌をうたい、金丸との初めての出会いの端緒をつかんだというのである。

——西原祝女(のろ)との間に出来た子、玉那覇里主は成長してから、宜野湾村の新城親方の養子となり、その子孫は宜野湾で玉那覇姓を名乗り繁昌したという。

その長男は西原の小那覇でやはり玉那覇姓を名乗って七男二女をもうけ、永く栄えたというのである。

もう一人の内間大屋子という人は、内間村の根屋安谷屋を相続した。

——西原町に祝女墓というお墓がある。その墓が西原祝女のお墓ではないかと思われる。

俗に花房曲や(はなぶさがや)といわれる県道一五五号線を西の方向に向って行くと、左手の方に標高百米ぐらいの小高い森がある。この森を土地の人は「御茶当毛」と呼ばならわしているが、その頂上のあたりに立派な墓がある。入口に「尚円王先妃志礼君加那志之墓」と書かれた碑が立てら

れている。下方に呂氏、卓氏という氏名が刻まれている。

墓の入口は丁度弁が岳の方向をむき(普通沖繩での墓は南向きが常識とされている)墓の位置は現在の内間御殿から、首里の玉御殿のやや中間あたりになっていて、なんとなく曰くありげである。

俗説によると、西原祝女がなくなるときの遺言に、私が死んだら首里と内間の中間に葬ってくれるように……、ということがあってわざわざ此の土地を選び、葬ったということである。

ウガンジャーマーの話

西原農園のそばに呉屋毛(ぐやまう)というところがある。その森のふもととところにウガンジャーマーと呼ばれる場所があった。大屋の娘との訣別の場所というこ

とで、いまでも古老たちの語り草になっているところである。

金丸が群臣におされて、西原を去り、首里に上る日、カヤブチ御殿ではじめて金丸を捜して、食事や身の回りの世話をしてくれた大屋の娘(中山家の先祖)との悲しい別れの間であるという。

そのとき、あまりの悲しさに、娘は歌に託して自分の胸中をうたったという。

あかん生爪(なまじみ)や
痛(やでい)るあかりゆる
やまん 別りゆし
里とわ身と

——不思議なことに、西原祝女の墓と並んで、やはり弁が岳の方向をむいたお墓が二つならん

る。この二つのお墓は、なんとなく西原祝女と関連がありそうであるが、どのような人が葬られているのか、また、どのようないわくがあるのか皆目わからない。

古老の話によると、大屋の娘の墓だというのが確証はない。

ただ、ススキやゲットウ、シダの茂みのなかで、昔のままの姿を太陽に晒しているのみである。

——尚円王の墓は南向きが常識とされている。墓の位置は現在の内間御殿から、首里の玉御殿のやや中間あたりになっていて、なんとなく曰くありげである。

幻の御茶当真五郎

歴史とは、一つの大きな絵巻物であるといわれている。その絵巻物のなかには、華やかに歴史の表面に踊り出る人もあれば、そのま

ま時代の激流に押し流されて、歴史のなかに埋没していく人もい

る。

御茶当真五郎とは、尚円革命のときに、おのれの全生涯を捧げながら、なぜか雑草の如く歴史の中

から消え去っていった人物である。

西原村の安室、桃原からクビリ坂(ひら)を通過して、草いきれの中をしばらく行くと、右手の方に、その昔、ハルバン(畑の番

人)の家があった。いまでは、その跡形さえもとどめないが、古老のなかには、その名前を記憶されている方も少なくない。

そのハルバンの伊波家と比屋根家の屋敷跡の向い側に、御茶当真五郎(うちやたいひーじやー)という泉がある。

その泉は、尚円が首里に上るとき、そこで休憩をして、気が向いたら、真五郎を相手に、髪を洗ったり、身体をふいたりして一息入れたという場所である。

その向い側のカサンチデ毛という森の中に御茶当真五郎の墓がある。墓のそばに大きなウスクガジマルの木が茂り、昼でもうす暗い感じで、シダやススキが密生し、ときどきシダの大きな葉が風にゆれている。

真五郎が死ぬとき、私が死んで

も、金丸様の首里に上るとき、御姿を拝みたいから、墓の入口は閉めないうで、そのまま開けておくように、という遺言があったという

ことで、墓の入口は開けられたままになっているが、何ら立証すべき手掛りもない。

……ただ西原町字桃原八三番地の安谷屋広英(八十二歳)さんが

附近の状況をよく知っておられる

というので、案内してもらった

際の伝説話である。

町史編纂協力会(仮称)を設置

現在、町役場企画課では内容ゆたかで科学的な西原町史を仕上げ

るため、精力的に資料の調査、収集、発掘等を行なっています。

これまでは主に文献史料の収集作業を進めてきましたが、この作業もかなり進んでおり、今後は史料の大きな割合を占めるところの町内にある生(なま)の資料の調査・発掘作業に力を入れる予定です。

先日の須恵器の発掘(発見)に代表される様に町内での調査も一定の成果を上げつつあります。

さて、近年地域を見直す機運が高まり、各地域では人々の歴史や文化に対する愛着が以前にも増して深まりつつあります。町としても地域史(西原町史)づくりはその地域の文化活動の一環として

小橋川61番地の

大城清栄さんが石斧贈る

「民俗資料として役立ててほしい。」と字小橋川61番地の大城清栄さんは、八年前に今帰仁村から出土した石器時代の石斧を六月二十二日、町教育委員会(小川正元教育長)に贈った。

この石斧は、多和田真淳氏に鑑定を依頼した結果、約二千五百年前の石器(片刃斧)と判明。長さ十二センチ、周囲一三・五センチ重さ二百五十グラムの二個で、一つは完成品だが、もう一つは一部破損している。

重機運転手である大城さんは、昭和四十六年、今帰仁村字与那嶺、西長浜貝塚の北側海岸近くでの敷地約一万七千四百平方メートルの造成工事中に見つけたという。その時、「表面はみがかれたあとがあ



▲二五〇〇年前の石斧

あなたも町史編纂協力会に参加してみませんか。

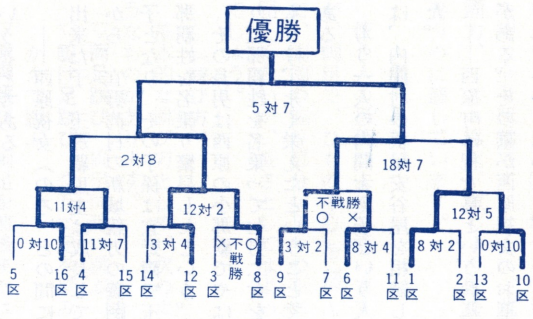
各区対抗野球大会賑う

十六チームが参加

町体育協会（平安恒政会長）主催で、六月十七日と二十四日の両日町内の沖繩高校グラウンドなど三会場で各区青年会会の融和・親睦と体力の向上のため会場で各区対抗野球大会が行なわれ、賑わった。



九区対十二区の決勝戦



交通安全功労者などを表彰

与那原地区交通安全協会

与那原地区交通安全協会では、七月四日午後三時から与那原町農協ホールで昭和五十四年度定期総会を開き、その席上で交通安全活動に御尽力された個人及び団体を表彰した。

- 表彰は次の通り、敬称略
- 〔交通安全功労者〕三名
- 小波津善一 小波津9番地
- 長嶺 朝之 掛保久二五二番地
- 糸数 辰雄 翁長一七五―五
- 〔無事故運転者〕六名
- 比嘉 栄 与那城三〇二番地
- の17
- 安里昌亀 我謝二四一番地
- 新垣隆功 兼久三五二番地

親泊議長の三氏が表彰

このほど、自治会館で行なわれた県町村議会議長定期総会の席上で、親泊輝武議長に中部地区町村議長の会長功労者（三年以上上）として県町村議長会から表彰状が手渡された。

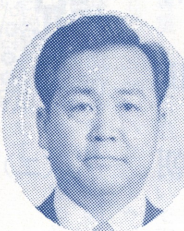
また、同日、中山正徳議員、



親泊輝武氏 (63才)



中山正徳氏 (55才)



屋良朝光氏 (45才)

交通事故巡回相談の お知らせ

七月二十一日午前十時から午後三時まで町役場小会議室で県交通事故相談係による交通事故巡回相談を実施します。

交通事故を起こして被害者又は加害者となった方々はぜひご相談を受けて下さい。

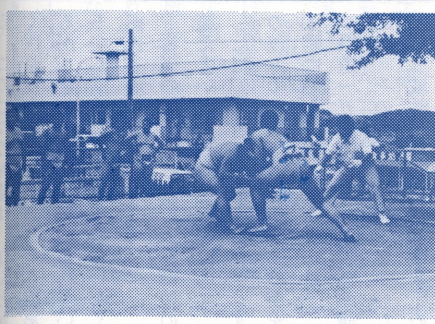
国体県派遣選手 選抜予選終了

六月二十四日午後一時から坂田小学校グラウンドで昭和五十四年度の国体相模選手を選抜第一次予選が県相模連盟関係者及び町民多数が観戦する中行なわれた。

まず、高校生三十人の四組リーグ戦により、八人が選抜され、決勝リーグ戦を行なった。

一般、教員、青年の部は混成でリーグ戦が行なわれ、その日国体派遣選手が決った。

町体協でも今年から相模部が新設されており、今後の相模振興のための意義ある大会となった。



昭和54年度各種団体行事予定

団体名 月	社 会 教 育							公 民 館	
	老人クラブ	婦 人 会	体育協会	西原小PTA	坂田小PTA	西原中PTA	スポーツ少年団	社会教育	
4月		15日、婦人総会 婦人検診	役員会 理事会						
5月		支部巡回 5月～6月	壮年ソフトボール大会	PTA総会	総 会	総 会		婦人総会 婦人幹部研修会	
6月	奉仕作業 歩こう歩こう 菊づくり	24日、主張大会 リーダー研修会	17日、野球大会 24日、	PTA作業 17日	校庭整備作業 地域子ども会	20周年式典 30日。	総会バレー大会 24日	婦人リーダー研修会 (9-10日) 青年教室 (12日) 青年懇談会(19日) 婦人主張大会 (24日)	青年教室 7～3月 家庭学級 7～12月 各講座希望者調整
7月	総会 婦人会との交流	記念誌準備委員会 父さんママさんバレー大会、 婦人検診	22日、各区対抗 技球大会 排・籠・卓球 大会	球技大会	理事会 14日 学年PTA 10日 PTAバレー大会 (21日)	親子作業 夏休み前 15日	少年野球、ソフト ボール (8日)	バレーボール教室 7月～10月	青年懇談会 教育講座 子ども会 育成懇談会 社会教育 振興大会
8月		野外の集い 26日	中頭郡夏季体育 大会			水泳訓練 (夏休み中)	少年団大会 (リ ーダー) 研修	オリエンテーリ ング 体力づくり教室 バドミントン教室	話し方教室 料理講座 書き方
9月	ねたきり老人 いもん	ねたきり老人慰 問、12日	小学生バレー大 会。29日、30日 町民陸上競技。	バザー 9日 学級学年PTA A	講演会 11日 運動会ダンス講習 (3日間)	親子球技大会		スポーツ・レク講 習 バドミントン講習	絵 画 生 花 着 付
10月		一般会員研修 レク研修 婦人検診	中頭郡陸上競技 大会、21日	21日、運動会	運動会 (14日) 校庭整備作業6日	運動会 (7日)	スポーツテスト (10日)	ゲートボール教室 10月～1月	
11月		町民運動会参加 西原まつり	各区対抗駅伝 (11日)		授業参かん(2日) PTA研修(13日)	講演会	少年野球 ソフトボール (18日)	バレーボール実技 講習	文化講演 11月3日
12月	奉仕作業 歩け歩け大会	参加30周年記念 大会 (23日) 婦人大会参加	町内職域バレー ボール、9日。	歩け歩け大会 古新聞回収	視察研修 (8日)	学級PTA 地区PTA (2日)	バレーボール 小中学生大会 (16日)	歩こう歩こう運動 バドミントン講習	青年リーダー研修 会
1月	新春ゲート ボール大会	新年会	町民マラソン大 会 (13日)	沖P大会 (12日)	講演会 (19日)	親子歩け歩け大 会		ミニバスケット講 習 (2回)	成 人 式 1月15日
2月			町内職域 野球大会	新入児童教育 講演会、土づ くり	奉仕作業 (16日)	講演会			新春演奏会 1月6日
3月				卒業式 22日 終了式 24日	11日 学級PTA 22日 卒業式	学級PTA 卒業式			

交通安全を心がけ明るい社会を建設しましょう。